

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム心

目標達成計画

作成日: 令和4年12月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	ハラスメント対策の強化が求められる中、マニュアルの作成、相談窓口の設置が追いついていない。早急にマニュアルの作成と相談窓口の設置に取り組む必要がある。	ハラスメント対策のマニュアルの作成と相談窓口の設置。	代表者あるいは管理者はハラスメント対策に関する研修や講習を受講し、知識や対策方法を習得する。基準に則ったマニュアルを作成し、相談窓口を設置する。	6ヶ月
2	35	災害等の緊急時に持ち出す入居者情報に不足している箇所があり、必要な情報を得たい時に、対応に時間を要してしまう恐れがある。	現在の入居者情報に不足している情報を新たに追加し、緊急時に対応可能な入居者情報を作成する。	情報表に顔写真・介護保険情報・既往歴・処方箋など個別の情報を新たに明記する。	2～3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。